

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成30年3月29日(2018.3.29)

【公開番号】特開2017-102807(P2017-102807A)

【公開日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2017-021

【出願番号】特願2015-237213(P2015-237213)

【国際特許分類】

G 0 6 F 11/28 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 11/28 3 4 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月13日(2018.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ソフトウェアのテストを支援する情報処理装置であって、
画面の遷移に関する記述を含む複数のテストシナリオと、
前記ソフトウェアを構成するソースコードと、
前記画面と前記画面の生成に関わる前記ソースコードとを対応付けた情報である画面 /
ソースコード対応情報と、
を記憶する記憶部、
前記テストシナリオの記述を、前記画面を単位とした複数のブロックに分割した結果を
含む情報であるテストシナリオ分割情報を生成するテストシナリオ分割部、及び、
前記テストシナリオ分割情報に基づき、前記複数のテストシナリオの夫々に実行優先度
を設定するテストシナリオ実行優先度設定部、
を備える、
テスト支援装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のテスト支援装置であって、
前記テストシナリオ実行優先度設定部は、前記画面別かつ観点毎に、前記複数のテスト
シナリオの夫々に前記実行優先度を設定する、
テスト支援装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載のテスト支援装置であって、
前記テストシナリオ実行優先度設定部は、特定の前記画面のテストが早期に開始される
前記テストシナリオが他の前記テストシナリオよりも優先して実行されるようにするとい
う前記観点に基づき、前記複数のテストシナリオの夫々に前記実行優先度を設定する、
テスト支援装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載のテスト支援装置であって、
前記記憶部は、前記複数のテストシナリオの夫々の実行ログをさらに記憶し、
前記テストシナリオ実行優先度設定部は、前記テストシナリオの夫々について、前記実
行ログから前記特定の画面のテストが開始されるタイミングを特定する情報を取得し、取

得した前記タイミングに基づき前記複数のテストシナリオの夫々に前記実行優先度を設定する、

テスト支援装置。

【請求項 5】

請求項 2 に記載のテスト支援装置であって、

前記記憶部は、前記複数のテストシナリオの夫々の実行ログをさらに記憶し、

前記テストシナリオ実行優先度設定部は、前記テストシナリオの夫々について、前記実行ログから、特定の前記画面についての不具合の発生頻度に関する情報を取得し、前記特定の画面についての不具合の発生頻度が多い前記テストシナリオが他の前記テストシナリオよりも優先して実行されるようにするという前記観点に基づき、前記実行優先度を設定する、

テスト支援装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載のテスト支援装置であって、

前記記憶部は、前記ソースコードをファイルの形式で記憶し、

画面を定義する記述を含む前記ソースコードから、前記画面に関する記述を含むソースコードのファイル名を取得し、前記画面と前記ファイル名とを対応づけた情報を、前記画面 / ソースコード対応情報として生成する、画面 / ソースコード対応情報生成部をさらに備える、

テスト支援装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載のテスト支援装置であって、

前記テストシナリオ分割部は、前記テストシナリオに記述されている、画面の遷移を生じさせる記述に基づきテストシナリオを分割する、

テスト支援装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載のテスト支援装置であって、

前記実行優先度に従って前記複数のテストシナリオを順に実行するテストシナリオ実行部をさらに備える、

テスト支援装置。

【請求項 9】

請求項 8 に記載のテスト支援装置であって、

前記テストシナリオ実行部は、特定の前記画面の前記ブロックの実行が完了した時点で前記テストシナリオの実行を停止する、

テスト支援装置。

【請求項 10】

請求項 8 に記載のテスト支援装置であって、

前記テストシナリオ実行部は、前記テストシナリオの画面の遷移のパターンが他の前記テストシナリオの画面の遷移のパターンの全部又は一部と重複する場合、実行する前記テストシナリオを選択して前記パターンを重複して実行しないようにする、

テスト支援装置。

【請求項 11】

ソフトウェアのテストを支援する方法であって、

情報処理装置が、

画面の遷移に関する記述を含む複数のテストシナリオと、

前記ソフトウェアを構成するソースコードと、

前記画面と前記画面の生成に関わる前記ソースコードとを対応付けた情報である画面 / ソースコード対応情報と、

を記憶するステップと、

前記テストシナリオの記述を、前記画面を単位とした複数のブロックに分割した結果を

含む情報であるテストシナリオ分割情報を生成するステップと、

前記テストシナリオ分割情報に基づき、前記複数のテストシナリオの夫々に実行優先度を設定するステップと、

を実行する、

テスト支援方法。

【請求項 1 2】

請求項 1 1 に記載のテスト支援方法であって、

前記情報処理装置は、前記画面別かつ観点毎に、前記複数のテストシナリオの夫々に前記実行優先度を設定する、

テスト支援方法。

【請求項 1 3】

請求項 1 2 に記載のテスト支援方法であって、

前記情報処理装置は、特定の前記画面のテストが早期に開始される前記テストシナリオが他の前記テストシナリオよりも優先して実行されるようにするという観点に基づき、前記複数のテストシナリオの夫々に前記実行優先度を設定する、

テスト支援方法。

【請求項 1 4】

請求項 1 3 に記載のテスト支援方法であって、

前記情報処理装置は、

前記複数のテストシナリオの夫々の実行ログをさらに記憶し、

前記テストシナリオの夫々について、前記実行ログから前記特定の画面のテストが開始されるタイミングを特定する情報を取得し、取得した前記タイミングに基づき前記複数のテストシナリオの夫々に前記実行優先度を設定する、

テスト支援方法。

【請求項 1 5】

情報処理装置に、

画面の遷移に関する記述を含む複数のテストシナリオと、

ソフトウェアを構成するソースコードと、

前記画面と前記画面の生成に関わる前記ソースコードとを対応付けた情報である画面 / ソースコード対応情報と、

を記憶する機能、

前記テストシナリオの記述を、前記画面を単位とした複数のブロックに分割した結果を含む情報であるテストシナリオ分割情報を生成する機能、及び

前記テストシナリオ分割情報に基づき、前記複数のテストシナリオの夫々に実行優先度を設定する機能、

を実現するためのプログラム。